

【小学校 国語科】

「新美南吉の『ここが大好き！』コレクション」を新美南吉記念館に送ろう

(第6学年)

奈良市立済美小学校 石田通大

1 ESD を生かした授業づくり

(1) 単元名・学校種と学年

「新美南吉の『ここが大好き！』コレクション」を

新美南吉記念館に送ろう

小学校第6学年

(2) 単元の概要



余の作品は、余の天性、性質と大きな理想を含んでいる。だから、これから多くの歴史が展開されて行って、今から何百年後でも、若し余の作品が、認められるなら、余は其処に再び生きることが出来る。此の点に於て、余は実に幸福と云える。(以下南吉日記昭和4年と記す)

上記は、新美南吉が昭和4年3月2日に日記に記した言葉である。本実践は、南吉が記したこの言葉に着目したい。南吉作品は、昭和28年に初めて「おじいさんのランプ」が中学1年生の教科書に掲載されるのを契機に、昭和29年には「手ぶくろを買いに」が小学3年生の教科書、昭和31年には「ごんぎつね」が小学生4年生の教科書に掲載された。また、昭和55年には、「ごんぎつね」が全ての教科書に掲載された。このように、南吉の作品は多くの児童に読まれており、南吉を知らない人はいないといっても過言ではない。しかし、南吉は順風満帆な生活を送ってきたわけではない。本実践は、南吉の考え方や生き方を知った上で南吉作品を読むことで、既習の学習では得ることが出来なかった「文学者新美南吉」に迫りたいと考える。そうすることで、南吉からのメッセージを読み深めたり、自分自身の生き方を見つめ直したり、家族愛を感じたりすることができるのではないかと考える。

南吉は、1913年(大正2年)愛知県知多郡半田町(現在の半田市)の出身である。本名は新見正八(しょうはち)という。南吉が生まれてからは、母親は体調を崩していたため、ほとんどその温かみを受けることはできなかった。そして、幼くして母を失い、養子に出されるなど寂しい幼少期を送った。その中で南吉は、中学時代から創作を始め、弱冠18歳で「ごんぎつね」を世に出した。しかし、病に苦しみ、作家としての成功を前に29歳(昭和18年)で世を去ることになる。29年7カ月という短い生涯の間には、数多くの童話、小説、詩、童謡、などを創作している。どれをとっても、物語性豊かで、ユーモアとペーソスに満ちた作品は、愛知県知多半島の風土を背景に、哀しみの中にも心の通い合いや美しい生き方といった普遍的なテーマが描かれている。

また、体の調子が著しく悪い時や精神的ショックの大きい時等に一時的な中断も見られるが、小学

3年生（大正11年）の時から、死後前年28歳（昭和17年）まで日記を書き続けている。この南吉の日記（言葉）の中からは、文学観、人生観、子ども観、故郷への思いなどがつまっていることが読み取れる。そのなかでも、上記の日記（言葉）は南吉のすべてを物語っているのではないかと考える。短い生涯ではあったものの、自分の作品が読み継がれていくことで平成の現在でも南吉は生き続けているのである。

次のような叙述は、南吉に迫ることができる一例であるのではないだろうか。（参考）

手ぶくろを買いに	ほんとうに人間はいいものかしら。ほんとうに人間はいいものかしら。
蛍のランターン	私達は無限の闇の底をいく一匹の蛍であるにすぎない。
でんでんむしのかなしみ	かなしみは だれでも もっているのだ。わたしばかりではないのだ。わたしは わたしの かなしみを こらえて いかなきゃ ならない
牛をつないだ樁の木	わしはもう、おもいのこすことはないがや。こんな小さな仕事だが、人のためになることをしのこすことができたからのオ
小さい太郎の悲しみ	或る悲しみは泣くことができます。泣いて消すことができます。しかし、或る悲しみは泣くことができません。泣いたって、どうしたって消すことはできないのです。

### （3）単元を貫く言語活動とその特徴

単元を貫く言語活動として、「新美南吉の『ここが大好き！』コレクション」を新美南吉記念館に送ろう」を位置付ける。まず、南吉について調べ、知る学習活動から始める。そして、学習のモデルとして、指導者が作成した「南吉の心のとびら」を提示し学習の見通しをもつ。「南吉の心のとびら」とは、①「南吉が一番伝えたかったこと」、②「自分の大好きな叙述とその理由」、③「次世代（次に読む人）にメッセージ」といった3つの観点でカードを凝縮ポートフォリオしたものである。最後に、それぞれの「南吉の心のとびら」を学級内で交流し、学級として「新美南吉の『ここが大好き！』コレクション」を作成し新美南吉記念館へ送る。これらの学習は、学習指導要領国語科【C読むこと エ】を実現するのにふさわしいと考える。

### （3）E S Dの視点の明確化

持続可能な社会づくりの構成概念について、○が付く理由

構成概念	○が付く理由
相互性	南吉が作品を通して訴えている思いや願いについて、読み取っていく際には、南吉の生い立ちや日記（言葉）について知ることが重要であるということに気付くことができる。
連帯性	誰もが知っている南吉作品について読み取る際、自分と学級の友達との考えや意見の相違点や共通点を見付け、互いに連携・協力することができる。

E S Dの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

能力・態度	理由
批判的に考える力（批判）	南吉作品に込められた南吉の思いや願いについて観点を絞り、複数の本や文章などを選んで比べて読むことができる。 国語科学習指導要領 [C 読むこと カ]
他者と協力する態度（協力）	南吉作品を平行読書し、感じたことや考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 国語科学習指導要領（小） [C 読むこと オ]
つながりを尊重する態度（関連）	南吉作品を読み進める中で、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。 国語科学習指導要領（小） [C 読むこと エ]

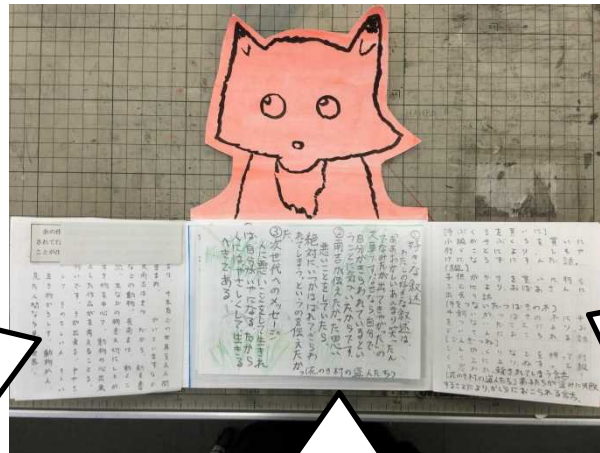
## 2 学習計画

次	時	学習計画	指導上の留意点	評価規準と評価方法など
一	2 ①	○ 学習の見通しをもつ。  ● 「新美南吉の『ここが大好き！』コレクション」を新美南吉記念館に送ろうという学習のゴールを提示し学習計画を立てる。  ● 知っている南吉作品を出し合い、どのような内容のお話だったかについて話し合う。  ● 南吉の写真と日記を契機に南吉について調べ、南吉について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が作成した、「南吉心のとびら」をモデルとして提示することで、学習の見通しをもつ。</li> <li>既習の学習を振り返える。</li> <li>南吉日記昭和4年を提示し、南吉の思いや願いについて考えるように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>批判的に考える力（批判） ワークシート</li> </ul>
二	3 ① ② ③	○ 日記を基に「手ぶくろを買いに」をフレームリーディングし、「南吉心のとびら」について考える。  ● 「手ぶくろを買いに」をフレームリーディングし、4つの観	<ul style="list-style-type: none"> <li>凝縮ポートフォリオカードを使用し、その項目に当</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者と協力する態度（協力）</li> </ul>

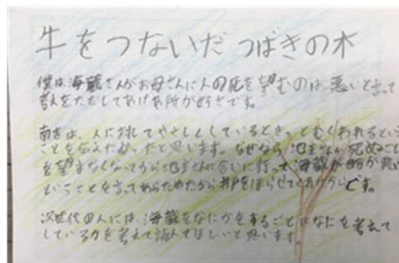
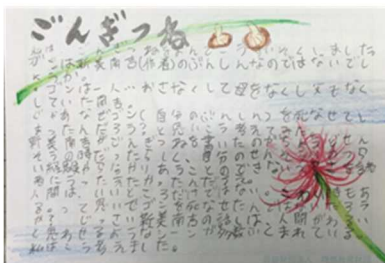
		<p>点について自分の考えをまとめ、学級全体で意見交流を行う。</p> <p><b>【観点①】</b> 南吉が一番伝えたかったこと</p> <p><b>【観点②】</b> 自分の大好きな叙述とその理由</p> <p><b>【観点③】</b> 次世代（次に読む人）にメッセージ</p>	<p>てはまる箇所に線を引いたり、書き込んだりするよう促す。</p>	<p>タブレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つながりを尊重する態度（関連）</li> </ul> <p>ワークシート</p>
三	6 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥	<p>○ 自分が選んだ南吉作品について「南吉心のとびら」について考える。</p> <p>● 自分が選んだ南吉作品について自分の考えをまとめ、グループで意見交換を行う。</p> <p><b>【観点①】</b> 南吉が一番伝えたかったこと</p> <p><b>【観点②】</b> 自分の大好きな叙述とその理由</p> <p><b>【観点③】</b> 次世代（次に読む人）にメッセージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と同じ作品を選んだ児童同士が一緒に活動できるように相談したり、質問したりできる環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者と協力する態度（協力）</li> </ul> <p>タブレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つながりを尊重する態度（関連）</li> </ul> <p>ワークシート</p>
四	2 ① ②	<p>● グループでまとめた「南吉心のとびら」を学級全体でまとめ、「南吉ここが大好き！コレクション」について考える。</p> <p>○ 「南吉こころのとびら」カードを整理し、作品ごとに分類する。</p> <p>○ 「南吉こころのとびら」カードを学級全体でまとめ、「南吉ここが大好き！コレクション」を作成し新美南吉記念館に送る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と友達との考え方の相違点や共通点を見付け、整理・分類するよう促す。</li> <li>学級全体の考えが全て生かされるように工夫をするよう促す。</li> </ul>	

### 3 実践の概要

新美南吉について各自が調べたことを記載した。その後、学級全体でその内容を共有した。自分が「おっ」と思う内容について赤ペンで付け加え新美南吉について知る活動



「〇〇が□□□することにより、△△△する話」というまとめ方で自分が読んだ新美南吉の作品を紹介する目次を記載した。



各自が読んだ作品を、左のようにまとめた。

最後に、それぞれのカードを基に、新美南吉がそれぞれの作品に込めた思いを学級全体で話し合った。その板書が左下である。学級として南吉は、「生きる意味」を訴えているのではないだろうかというのが結論となった。

### 4 児童の感想

- 南吉の人生についての物語なんだと思った。
- 作者の人生を知ってから作品を読むとこれまでと全く感じ方が違った。
- どの作品も深い思いが込められていてすごいと思った。
- 大人になってもう一度南吉の作品を読みたいと思う。何かがちがっているのだろうか。

